

科目名	Course Title		
地球環境学 (Earth Environmental Science)			
学科・専攻	Department/Program	受講年次	Grade
地球惑星科学科		3年	
授業形態	Class style	必修・選択の別	Compulsory or Elective
講義		選択	
時間割コード	Registration code	開講期・曜日・時限	Semester, Day & Period
0668900		春学期 月曜：2時限	
単位数	Credit	科目区分	Course type
2		専門基礎科目	
担当教員	Instructor	平野 恭弘	
所属研究室	Laboratory	地球環境システム学講座	
連絡先	Contact	2536	
居室	Room	環境総合館717	

講義の目的とねらい	Course purpose
<p>地球環境問題を体系的に理解することができるようになるために、地球環境を構成する陸域生態系の構造と機能、生物と環境の相互作用を生態学的に理解することを目標とする。特に地球環境に欠かせない森林生態系の機能と役割について理解を深め、地球環境の中で森林の関わり合いや、世界と日本における森林の環境問題、それらの解決の糸口を自ら考える能力を養うことを目指す。また、地球環境と生物多様性の関係にも焦点を当て、環境を考える上で重要となる生態学的な知識と考え方を修得することも目指す。そのことで環境問題を主体的に考え、その解決にむけた取組みについて関心をもてるようになる。</p>	
履修要件	Prerequisite
特になし	
履修取り下げについて	Course withdrawal
<p><可否> 可能 <条件> 履修取り下げ届は5月末まで受理する。</p>	
成績評価	Grading
3回のレポート提出を必須とし、レポート内容で評価する。	
不可 (F) と欠席の基準	Criteria for "Absent" & "Fail" grades
レポートを3回提出していない場合には欠席とする。	
関連する科目	Related courses
特になし	
他学科学生の聴講について	About attend other

<可否>
<条件>
特になし

教室 Class room

E館127

授業内容 Content

- 1) 地球温暖化と森林生態系 平野
- 2) 世界の森林と日本の森林 平野
- 3) 森林生態系と生態系サービス 平野
- 4) 森林地下部生態系 森林土壌と樹木根『落ち葉』だけでなく『落ち根』 平野
- 5) 酸性雨など大気汚染物質が森林に与える影響 平野
- 6) 森林生態系の健全性とは マツ枯れナラ枯れ 平野
- 7) 臨床環境学の視点から捉える森林シカ被害 平野
- 8) 生命と地球の共進化(1) 高野
- 9) 生命と地球の共進化(2) 高野
- 10) 環境と生物多様性 西田
- 11) 環境と生物進化 西田
- 12) 生物という環境 生物間相互作用1 西田
- 13) 生物という環境 生物間相互作用2 西田
- 14) 人間が変える生物多様性 西田

教科書 Textbook

特になし

参考書 Recommended reading

社)資源協会編『千年持続社会』日本地域社会研究所2003年
佐々木恵彦ほか編 森林科学文永堂出版 2007年
臨床環境学 渡邊誠一郎他編 2014年 名古屋大学出版会 ISBN978-4-8158-0781-8
他は講義中に示す

連絡方法 Contact method

E-mail 平野恭弘 yhirano@nagoya-u.jp

その他 Remarks

生物学の知識は前提としません。わからない点は積極的に質問してください。メールでもOKです。